

歴史の道ふれあい遊歩道整備事業

取組に至る背景・事業の目的

麻績村の板尾地区にある、内務省土木局が明治期に造成した石積堰堤は、歴史的価値が非常に高いが（国の登録有形文化財に登録（平成26年10月7日）、これまで遊歩道整備が不十分であったため、村外者はもちろん、村民であっても石積堰堤に訪れた経験がある者は少なかった。

遊歩道整備を行うことにより、多くの村外者に石積堰堤の歴史的価値、麻績村の魅力を発信し、村民の地域への愛着や誇りを高めることを目的とした。

事業内容

根尾地区にある歴史的価値が非常に高い石積堰堤を村内外に広く発信するため、そこへ続く遊歩道を整備し、子ども体験教室などで活用することで、いままで埋もれていた史跡を後世へ伝えていくきっかけとした。

<内容>

- 板尾地区住民や地域団体会員の参画と協働
 - ・計画立案、意思決定において、地元区や地域団体と意見交換を行い、合意形成を実施
 - ・遊歩道に敷く砕石を均す作業、木橋の設置等、地元区や地域団体と相互に連携・補完しながら事業推進
 - ・地元区や地域団体による新遊歩道の管理
- 小学校及び中学校での社会科、理科教室での活用
- 県建設部砂防課と共催によるシンポジウムにて紹介、見学



【 小学校授業風景 】

事業効果

次代を担う若年層へのアプローチを意識し、小学校及び中学校との連携を図り、遊歩道を活用した見学・授業を実施し地域への愛着や誇りを高めることができた。

遊歩道を活用した砂防遺産シンポジウムにて石積堰堤の歴史的価値、麻績村の魅力を発信することができた。

地域団体との協働によりトレッキングコースとして位置付け、マップ整備に向け相互連携した。

森林セラピーロードやエコツーリズムなど、歩いてあるがままの環境を感じる以上の付加価値の創出につながった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

まだ石積堰堤に訪れた経験がある方は少ないので、より多くの方に石積堰堤、石積堰堤の歴史的価値、麻績村の魅力を知らせてもらえるよう遊歩道を活用し周知していく。

今後は、自然体験型子ども教室を実施し地域への愛着や誇りが高まるよう、次代を担う若年層へのアプローチをしていく。

【選定のポイント】

遊歩道の計画立案、意思決定や現場での作業の際は、地元根尾地区住民や地域団体を巻き込んで実施し、小・中学校とも連携して見学や授業で活用することにより、歴史的価値の高い石積堰堤を地域活性化につなげるきっかけを作ったことが評価できる。

団体名	麻績村教育委員会	事業タイプ	(ハード事業)
連絡先	0263-67-4858	事業費	3,496,500円
		支援金額	2,058,000円